

地域の歴史文化を育み歩む…西正寺

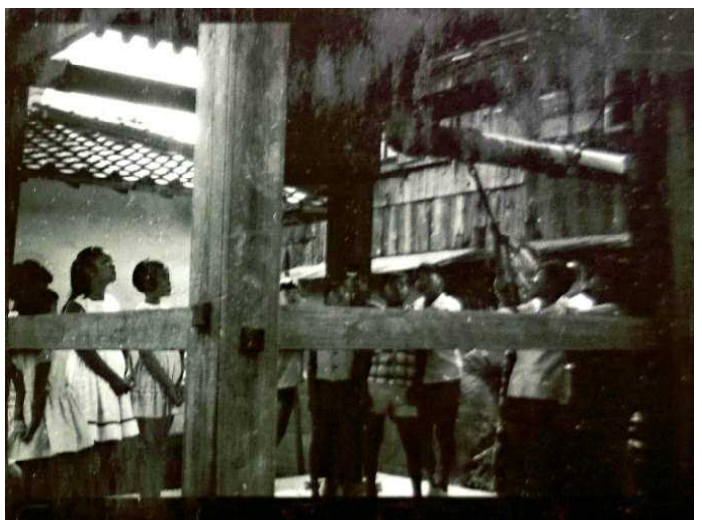
「坂部」の地名は南北朝時代にみられます。こと「上坂部」に限ると、史料上の初見は1617年（元和3）「摂津一国高御改帳」となっています。（『尼崎市史』第5巻） 上坂部の水利は三平井組に属し、氏神は式内社の伊佐具神社、寺院は浄土真宗本願寺派西正寺（さいしょうじ）を拠としています。

西正寺は江戸初期に、地元の請願によって建立され、古文書には「寛永10年（1633年）4月15日に西本願寺良如上人（第十三代宗主）より木像と寺号御免の印判を戴いた」と記されています。西正寺道場の再興願書が存在することから、お寺の存続に係っては栄枯盛衰があったようです。現代においては、日本人の宗教離れ・無宗教化が危惧されていますが、西正寺では、お寺で地域の人たちとカレーイベント（カリー寺）を行ったり、地域・社会の問題を考えるワークショップや落語（西正寺寄席）を開催するなど、地元のお寺として親しまれています。

右の2枚のモノクロ写真は、昭和24年前後の頃のもので、地域の方々が釣鐘堂に集う姿に、お寺への想いや願いがうかがわれます。



3枚目の写真は「きょうちくの鐘」（昭和39年8月24日 青少年課撮影）と題した写真で、子どもたちが鐘つきに一齐に注目している姿が印象的です。また、近年においても、校区探検で子どもたちが訪れたりします。（カラー写真） 格子状の引き戸から上に開いた板は「しとみ戸」とよばれるものです。日光、風雨、寒さ等を防ぐ建具ですが、上下に開くタイプと上にだけ開くタイプがあります。西正寺は、上にだけ開く「半じとみ」です。尼崎市内の寺院で、しとみ戸があるのは、ここだけです。みんな熱心に記録していますね。＜資料提供＞西正寺



平成26年
8月3日(日)
14:30開場 15:00開演
入場料：大人500円
高校生以下200円

第八回 西正寺寄席
落語と仏教

桂三郎
嵐の団衛
桂羅敏

会場：浄土真宗本願寺派 清光山 西正寺
尼崎市上坂部8丁目36-8 (JR東山線上下坂部～徒歩7分)
http://seishouji.blogspot.jp 電話：079-6491-2110

主催：西正寺青年会
共催：西正寺青年会、浄土真宗本願寺派西正寺
協力：尼崎市子育て支援センター、落語、尼崎市教育委員会

